

水際対策強化・市中感染拡大防止

新型コロナウイルス

自治体との連携強化

ノウハウの継承



ホテルにおける宿泊支援



宿泊施設への輸送支援

第39代 第1師団副師団長
第43代 練馬駐屯地司令



陸将補 相園 和宏

出身 福岡県

前職 東北方面總監部防衛部長

第38代 第1師団幕僚長



1等陸佐 中村 和志

出身 東京都

前職 第1地对艦ミサイル連隊長



ホテルにおける宿泊支援



宿泊施設への輸送支援

第1師団は3月28日から、新型コロナウイルス感染症に対する水際対策強化のため、帰国者等の宿泊施設における宿泊

及び輸送支援を実施した。市中感染拡大防止に関しては4月6日、東京都知事より災害派遣要請を受け、4月7日から、

東京都の準備した宿泊施設における無症状・軽症患者に対する宿泊支援を実施するとともに、東京都庁職員等に対する宿泊支援に係るノウハウの継承を実施し、13日に災害派遣の撤収要請を受け、活動を終了した。

4月13日には、埼玉県知事より災害派遣要請を受け、4月14日から、無症状・軽症患者に対する宿泊（フウハウの継承を含む）及び輸送支援を実施し20日に災害派遣の撤収要請を受け、活動を終了した。

4月17日には、神奈川県知事・千葉県知事より災害派遣要請を受け、東京都や埼玉県同様の支援活動を実施し26日に災害派遣の撤収要請を受け、活動を終了した。

更に、4月27日、茨城県知事より災害派遣要請を受け、4月28日に災害派遣の撤収要請を受け、活動を終了した。

対空戦闘能力を向上 携帯SAM集合訓練

師団は5月18日から22日までの間、練馬駐屯地、大宮駐屯地、板妻駐屯地、駒門駐屯地、北富士駐屯地及び下志津駐屯地において「令和2年度第1回携帯SAM集合訓練」を実施した。

第34普通科連隊長・深田1佐を担任官として、8月に予定している対空実射訓練に向けて、射手の練度向上及び指導者の識能向上を目的として実施し、各普通科連隊、第1特科隊及び第1戦車大隊の隊員が参加した。

本訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、各部隊から隊員を集めて訓練するのではなく、座学は「Skype」を活用し、第1高射特科大隊の隊員により、対空戦闘概要、対空脅威及び射撃理論等の教育を実施した。非実射訓練においても昨年度携帯SAM集合訓練に参加した隊員を助教員として活用し、3密を避ける等感染防止を図りつつ、各部隊ごと指導・訓練展示を実施した。

また、対空実射訓練装置（GSM-17）を使用した模擬実射訓練においては、高射学校の支援を受けて、下志津駐屯地と駒門駐屯地の2箇所を実施し、20日から21日の午前・午後に分けて各部隊ごと誘導弾の点検・組立、運用準備及び射撃準備を反復演練して練度を向上させた。



Skypeを活用した座学



対空実射訓練装置を使用した模擬実射訓練

基本基礎の徹底！隊員の能力向上を図る 各部隊で練成訓練

第1普通科連隊

【第3次連隊野営訓練】 13日までの間、各中隊連隊は5月9日から1の81ミリ迫撃砲射撃の



81mm迫撃砲射撃の観測者



市街地戦闘訓練

練度向上を図ることを目的として、北富士演習場において「第3次野営訓練」を実施した。
また、中隊ごとに射撃陣地を相互に研修して、射撃精度の向上に努め、所望の成果を収めた。
【第4次連隊野営訓練】 連隊は5月14日から

22日までの間、東富士演習場において「第4次連隊野営訓練」を実施した。

本訓練は、市街地における各種事態に対処するために必要な練度、具体的な訓練要領の確立について各中隊の認識統一を図ることを目的として実施し、これに合わせて連隊は、各中隊の指導部に対して隊員が保持すべき訓練練度を具体化して更なる練度向上に努めた。

第32普通科連隊

【第2次野営訓練】 連隊は5月7日から9日までの間、東富士演習場において「第2次野営訓練」を実施した。



70式地雷原爆破装置の投射準備

訓練」を実施した。
本訓練は、本部管理中队施設作業小隊による70式地雷原爆破装置の投射、重迫撃砲中隊による120ミリ迫撃砲射撃の練度向上を図る目的で実施し、所望の成果を収めた。
【令和2年度第1回連隊高所監視用ドローン操作手養成訓練】 連隊は5月12日から15日までの間、大宮駐屯地講堂において「令和2年度第1回連隊高所監視用ドローン操作手養成訓練」を実施した。
本訓練は操作要員を養成する目的で実施し、高所監視用ドローンの操作要員候補者に対して、高所監視用ドローン操作等に係る教育を実施するとともに、その練度を評価・判定し、所望の成果を収めた。



ドローン操作手養成訓練

第34普通科連隊

【令和2年度第1回連隊狙撃手集合訓練】 連隊は4月22日、東富士演習場において「令和2年度第1回連隊狙撃手集合訓練」を実施した。

本訓練は、狙撃手としての射撃練度及び任務遂行能力の向上を図ることを目的とし、連隊の狙撃手をもって各射距離における正確な諸元を把握す

るとともに、練成射撃に引き続き、基本射撃検定及び応用射撃検定を実施した。
当日は、風速が変化する状況であったが、目標及び射距離に応じて、冷静に状況判断しつつ制限

時間内に射手及び観測手が連携し、最後まで集中力を切らすことなく射撃訓練を実施した。
【第1回タルマガーディアン普及訓練】 連隊は5月18日から29日の間、板妻駐屯地

及び東富士演習場において「第1回タルマガーディアン普及訓練」を実施した。昨年10月にインドにおいて実施された「インド陸軍との実動訓練（タルマガーディアン19）」で得た教訓・経験等、ノウハウを普及することを目的に、本訓練に参加した第5中隊基幹の隊員をもって、各中隊から選抜された計6名を対象に対テロ作戦における各種行動等について演練した。

この中で、市街地での隊員各個の基礎動作をはじめ、各種状況下における射撃、建物内の掃討、襲撃、伏撃、人質救出等基本的行動を訓練した。
また、市街地戦闘に係る練度判定を行うとともに、最後の総合訓練では、状況下で対テロ作戦に係る一連の行動について評

第1後方支援連隊

【横浜市立市民病院移転に伴う輸送協力】 連隊は5月1日、神奈川県横浜市立横浜市民病院に

者輸送支援任務を見据えた訓練として、病院との患者輸送に関する調整、患者の申し受け・送り等、病院との連携要領の演練を図った。



新市民病院へ患者を輸送

価・判定した。
各隊員はこれまで積み上げてきた訓練成果を如く各隊員はこれまで積み上げてきた訓練成果を如く



土嚢の設置（1特）



土嚢の設置要領を教育（1施大）



道路を清掃（1特）



道路補修用の砂利を積載（1施大と1特）

第1特科隊
第1施設大隊

【令和2年度春季北富士演習場定期整備】
第1特科隊及び第1施設大隊は5月23日から6月3日までの間、北富士演習場において、演習場機能の維持・向上及び長期安定使用に寄与することを目的とし、北富士演習場の道路整備、場内清掃、射場等訓練施設整備、特定工事等を実施した。

【第1特科隊 隊員コメント】
今回は道路整備約70ヶ所、射場等整備13ヶ所、防火帯の作成、雪解け水・大雨に伴う荒廃箇所の整備を実施した。また、隊務の総合一体化として施設合同訓練を実施し、陣地構築（基礎）の施設技術能力を向上させた。

【第1施設大隊 隊員コメント】
本部管理中隊 宮下士長「土嚢設置は初めてで、実際にやってみるととても難しかったです。しかし施設科隊員の巡回指導の際に、『上手に出来ている』と褒めて頂き、嬉しかったです。今回生まれた自信をもっと中隊への貢献に繋げられるよう、全力で頑張ります。」

【第1施設大隊 隊員コメント】
本部管理中隊 井戸賀2曹「昨年度、施設機械操作の特技を取得してから、今回小型油圧ショベルの操作手として参加しました。現場で行う初めての任務で緊張しましたが、『丁寧に素早く』を着眼に溜木の整備を遂行



アンテナ建柱を練成



車両誘導要領を練成



練馬駐屯地内を徒歩行進訓練

【第1回大隊訓練】
大隊は4月10日及び13日から16日までの間、練馬駐屯地内、そして東

富士演習場において「第1回大隊訓練」を実施した。本訓練は基礎となる部隊以下の練度の向上を図ることを目的とし当初、駐屯地内において約10ヶ所の徒歩行進訓練を実施し、翌週13日から、東富士演習場において班・組訓練（現地偵察・夜間における侵入・歩哨訓練）を実施して、所望の成果を収めた。

第1通信大隊



10式戦車の射撃準備

第1戦車大隊

【令和2年度第1回戦車射撃検定】
大隊は4月24日、東富士演習場第3戦闘射撃場において「令和2年度第1回戦車射撃検定」を実施し、砲手及び砲手要員の合計12名に対する戦車砲並びに連装銃の射撃の練度を評価・判定した。

砲手は、日頃の練成成果を十分に発揮し、全員が本検定に合格した。

このほか、各戦車中隊は、12月に実施予定の大隊戦車射撃競技会へ向けた練成射撃を実施し、それぞれ射撃練度の向上を図った。

第1高射特科大隊



重機関銃による対空戦闘



対空戦闘（短SAM）

【高射中隊の野外行動訓練検閲】
大隊は4月26日から30日までの間、駒門駐屯地及び東富士演習場において、師団の陣地防御を主体とした状況下における高射特科部隊の行動を検閲課目とする「高射中隊の野外行動訓練検閲」を実施した。

高射中隊は、26日に約20ヶ所の徒歩行進を実施した後、27日以降、それぞれの地域において防御陣地を構築し、強靱な対空戦闘を遂行して、師団の対空戦闘専任部隊として作戦及び戦闘に寄与できる能力を確認した。

優秀隊員に選ばれた第1射撃小隊指揮班長、外園3曹は「防御戦闘を実施する上で、陣地の秘匿に重点をおいて検閲に臨みました。どこに陣地を設ければ相手に発見されず更に強い陣地になるかを考えて訓練しました。今後、更に強い部隊に成長できるよう一層頑張っていきたいと思っています」と話した。

また、第2射撃小隊小隊長伊東2曹は「陣地構築にあたり、各器材の位置関係や重機関銃の配置、敵の可能行動などを小隊の隊員に徹底するのが本場に大変でした。まだまだ未熟な面がたくさんあるので、これからも頑張っていきたいと思っています」と話した。



74式戦車における射撃

第1偵察隊



アクセルターンの練成

【令和2年度第1回オートバイ集合訓練】
駐屯地及び朝霞オートバイ訓練場において、「令和2年度第1回オートバイ集合訓練」を実施した。本訓練はオートバイの操縦技能を向上させることを目的として訓練し、最後に、運用訓練幹部以下指導部8名をもって、東京都23区内の公道において、操縦技能の向上及び都内の経路の習熟を図ることを目的とし「令和2年度第1回オートバイ集合訓練」を実施した。早朝の非常召集により訓練が開始され、その後、各種事態計画に基づく現地偵察を実施して、即応性の向上を図った。



日本橋付近を現地偵察

和2年度第1回オートバイ集合訓練」を実施した。本訓練はオートバイの操縦技能を向上させることを目的として訓練し、最後に、運用訓練幹部以下指導部8名をもって、東京都23区内の公道において、操縦技能の向上及び都内の経路の習熟を図ることを目的とし「令和2年度第1回オートバイ集合訓練」を実施した。早朝の非常召集により訓練が開始され、その後、各種事態計画に基づく現地偵察を実施して、即応性の向上を図った。

第1特殊武器防護隊

【18式個人用防護装備】
隊は5月1日、7日及び8日、練馬駐屯地において、新たに装備された18式個人用防護装備の取扱いについて教育を実施した。従来の装備品（00式



18式個人用防護装備の取り扱いについて教育

個人用防護装備）と比べ、目ガラスが大きく視界が良好になったほか、吸収缶も左右に装着するようになり、呼吸もしやすくなる等、様々な違いを理



除染所による活動

演習場において、師団の陣地防御における特殊武器防護隊の行動として師団除染所の開設運営能力の向上を図る目的として「令和2年度第2回隊練成訓練」を

実施した。隊は約25キロの徒步行進訓練の後、掩体構築、障害構成及び除染所の開設等を実施し、所望の成果を収めた。

第1音楽隊

【令和2年度第1回行進訓練】
隊は5月27日及び28日、練馬駐屯地において



駐屯地内を徒步行進（写真上下）



概況を報告する左近付隊長



施設現況を確認

【令和2年度物品管理・補給整備検査受検】
隊は4月15日から17日の間「令和2年度物品管理・補給整備検査」を実施した。現在の物品管理業務の実施状況について、問題の把握及び改善等を実施し、更なる業務の質的向上を図った。

第1飛行隊

【山林火災に係る災害派遣】
隊は3月27日、茨城県大子町花瓶山において



UH-1に消火用バケットを取付け



UH-1の飛行訓練

【第1回飛行訓練】
隊は4月20日から30日までの間、立川駐屯地及び東富士演習場等において「第1回飛行訓練」を実施した。本訓練は基礎的な知識及び技能の向上を図ることを目的として、当初、行進訓練を行った後、制限地離着陸、戦技飛行、有線通信網の構成等、特技訓練を焦点に実施した。このほか、救急法検定を実施し、基礎的事項に係る修得状況を確認した。

発生した山林火災に対する災害派遣要請を受け、第12ヘリコプター隊からの支援を得て、空中消火活動及び空中消火活動の統制に当たった。約30ヘクタールの延焼規模であったが、28日14時30分に大子町消防本部が鎮圧を宣言、これを受け15時5分撤収要請により災害派遣活動を終了した。



方面意見発表会に臨む須藤 3 曹



必撮仕事人

本部管理中隊 須藤 3 曹

そこでは、本部管理中队写真班に所属している須藤3曹をクロースアップしたい。

彼は、通信科特技である信務・電話・搬送・無線とは違い中队配属と同時に写真の門を叩き、現在に至るまで、写真一筋に生きてきたプロである。

そんな彼は、昨年の台風による大規模災害や、熊本地震、広島・常陸降雨災害等々、ありとあらゆる災害現場や、観閲式・天皇即位礼といった国家行事などに率先きゅう行し、師団のニーズに応え、師団隷下部隊の行動を記録に残すべく写真活動に務め、今や「須藤3曹なくして師団の記録は残せない」くらいの存在となっている。

また、昨年の方面意見発表会に陸曹の部の師団代表として参加し、カメラマンとして、二度と訪れない瞬間を必ず撮るという「必撮」の精神と「代わりはいない」という強い責任感と使命感をもって日々撮影の練度向上に努めていること、その記録を残していきたい「カメラマンとしての使命を果たしていきたい」そのために「可能性がある限り撮影を続けたい」と語った。彼からカメラが向けられた際には是非、敬遠することなく、また格好つけることなく、素のままの被写体となって頂き、この熱い男の想いを受けとめてほしい。

今後とも師団全部隊に対してより良い通信・回線の提供ができるよう日々訓練に励んでいる隊員を、そして第一通信大隊を宜しく願う。



第1通信大隊
最先任上級曹長
陸曹長 矢野 祥行

自衛官候補生 各教育隊で教育邁進中！

第32普通科連隊隊 教育隊



総合戦闘訓練（朝霞訓練場）



体力検定（大宮駐屯地）



総合戦闘訓練（朝霞訓練場）

第1普通科連隊 教育隊

第34普通科連隊隊 教育隊



バトラ競技会（板妻駐屯地）



感染防止も万全！



徒步行進訓練（朝霞訓練場）

第1特科隊 教育隊



訓練用手榴弾投てき（東富士演習場）



ガス体験（北富士駐屯地）



障害走（北富士駐屯地）

退官者紹介

第1後方支援連隊



本部付隊
1等陸曹
江川 幸俊



第1整備大隊
施設整備隊
1等陸曹
森澤 誠



第2整備大隊
戦車直接支援隊
1等陸曹
永井 忠



3等陸尉
長谷部 光俊

第1音楽隊

慈許の自然災害や感染症などの報道において、自衛隊の活動を目にする機会が増えました。活動内容や役割は多岐に渡るものの、自衛官一人一人が国を守るという使命を引き受けているのだと考えると胸が熱くなります。

幼少のころ、ベソっかだった息子にこのような大きな役割を果たせるのかと入隊当時は心配していましたが、今や整備士として国防の一旦を担い、見違えるほど逞しくなりました。様々な経験を積み、覚悟と自信が備わった姿を誇らしく感じます。

ゴールのない厳しい環境に身を置く中で、この努力が報われる日が来るのだらうかと苦悩することもあると思いますが、素晴らしい仲間とともに初心を忘れず、強い矜持をもって邁進してください。若き日のその苦悩こそが、今を創り、未来を守ることに繋がっていると信じています。他者の痛みを受け止められる強くあたたかい人間になって日本を守ってください。今後の更なる成長と活躍を期待しています。



「父から息子へ」

第1飛行隊 1等陸士 望月 良之佑
父 良則



入隊式で家族と記念写真



隊員家族紹介

「6歳の息子から父へ」

第32普通科連隊 2等陸曹 吉田 奨
長男 歩



投稿してくれた歩君（写真左）と兄弟

お父さんへ
いつも家族のために
仕事を頑張ってくれて、
どうもありがとう。
休みの日は公園へ遊
びに行くのが楽しいよ。
天気の良い日は、また
走りに行こうね。
どんな虫も手で捕ま
えてくれるところかだ
いすき。
コロナが終わったら、
いっぱいでかけよう。
これからも体に気を
つけて、がんばってね！
あゆむ より

ご案内

掲載記事以外にも、
日々師団の活動状況に
ついてSNSで発信し
ていますので、是非と
もご覧ください。



facebook



Twitter



令和元年度師団ナンバーワン戦士の紹介

師団ナンバーワン戦士 4部門で表彰



射撃検定(小銃射撃の部)
第1通信大隊
本部管理中隊
3曹 荒木 竜弥



射撃検定(拳銃射撃の部)
第32普通科連隊
第5中隊
3曹 神 明広



体力検定(男子の部)
第1普通科連隊
第1中隊
3尉 小松 由和



体力検定(女子の部)
第1通信大隊
第1中隊
士長 岩下 美沙

師団は4月9日、練馬駐屯地において令和元年度師団ナンバーワン戦士を認定した。今回で4回目となる「師団ナンバーワン戦士」の認定は、各部門で優秀な成績を収めた隊員に対して認定証を授与するとともに、顕彰版への掲示を実施し、更なる戦技能力の向上と士気の高揚を図ることを目的に実施している。

認定にあたっては、射撃検定(小銃射撃の部・拳銃射撃の部)、体力検定(男女の部)において、師団隷下部隊の中で最高得点だった隊員を選出し、師団長より認定証が授与された。

▼射撃検定(小銃射撃の部)
第1通信大隊 本部管理中隊
3曹 荒木 竜弥

▼射撃検定(拳銃射撃の部)
第32普通科連隊 第5中隊
3曹 神 明広

▼体力検定(男子の部)
第1普通科連隊 第1中隊
3尉 小松 由和

▼体力検定(女子の部)
第1通信大隊 第1中隊
士長 岩下 美沙

隊員自主募集ご協力をお願い

一般自衛隊補生・自衛官候補生の応募資格が規則改正!

採用予定月の1日現在、

自分達の「同僚・先輩は自らの手で」

隊員の皆様のご協力が必要です。



悩み相談

心理相談 (第1師団心理幹部)

法律相談 (第1師団法務官)

倫理相談 (第1師団法務官)

「うつ」隊員等のサポート

0120-1848-38

8-31-2215

8-31-2266

8-31-2265

0120-834-939



【お知らせ】

新型コロナウイルス感染症
対策の為開館中
開館はSNS等で
お知らせします。